

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	1	
授業科目	総合演習ⅩⅢ（特別活動）	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	イベントを通じて周りとの協調性を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	イベント活動におけるコミュニケーション力向上	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	学校行事 コミュニケーション実践1
	2	学校行事 コミュニケーション実践2
	3	学校行事 コミュニケーション実践3
	4	学校行事 コミュニケーション実践4
	5	学校行事 コミュニケーション実践5
	6	学校行事 組織運営1
	7	学校行事 組織運営2
	8	学校行事 組織運営3
	9	学校行事 組織運営4
	10	学校行事 組織運営5
成績評価方法 (試験実施方法)	出席点100%	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	2	
授業科目	総合演習Ⅲ（計算技能）	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	電卓の操作方法を学び、計算演習を行う	
授業の進め方	電卓と電卓練習用教材を使用した技能演習	
達成目標	数値演算を通じた、計数能力の向上	
教科書	オリジナルテキスト・日本電卓技能検定協会 電卓技能検定問題集	
特記		
授業計画	1	加減算演習1
	2	加減算演習2
	3	加減算演習3
	4	乗除算演習1
	5	乗除算演習2
	6	乗除算演習3
	7	伝票算演習1
	8	伝票算演習2
	9	伝票算演習3
	10	検定問題演習1
	11	検定問題演習2
	12	検定問題演習3
	13	検定問題演習4
	14	検定問題演習5
	15	検定問題演習6
	16	検定問題演習7
	17	検定問題演習8
	18	検定問題演習9
	19	検定問題演習10
	20	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	3	
授業科目	経理事務実習	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択必修1	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	経理事務職員として必要な販売管理スキルを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	効果測定における得点、80点以上を目標とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	販売管理概論
	2	納品書の作成
	3	納品書の作成
	4	売上事務の流れ
	5	売上事務の流れ
	6	売上の計上
	7	売上の計上
	8	振替伝票の作成
	9	振替伝票の作成
	10	請求書の作成
	11	請求書の作成
	12	締め日
	13	締め日と合計請求書
	14	請求に関する様々な条件
	15	代金の回収と領収書の発行
	16	代金の回収と領収書の発行
	17	代金の回収管理
	18	代金の回収管理
	19	管理資料の作成
	20	管理資料の作成
	21	複数の取引先との取引1
	22	複数の取引先との取引1
	23	複数の取引先との取引2
	24	複数の取引先との取引2
	25	得意先と販売管理1
	26	得意先と販売管理1
	27	得意先と販売管理2
	28	得意先と販売管理2
	29	プレ効果測定
	30	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	4	
授業科目	経理実務	
実務家教員授業	授業担当者：富山 満	
	実務経験：富山税理士事務所にて、税務代理・税務書類の作成・税務相談に従事。	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択必修1	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	経理事務職員として必要な税金および社会保険の知識を習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な実技演習	
達成目標	効果測定における得点、80点以上を目標とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	小切手・手形の実務上のポイント
	2	入出金伝票と現金出納帳
	3	当座預金出納帳と手形記入帳
	4	交際費、福利厚生費及び会議費等の区分(基礎)
	5	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理1
	6	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理2
	7	源泉所得税(給与)の徴収・納付事務
	8	所得税の基礎知識
	9	源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎)1
	10	源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎)2
	11	源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用)1
	12	源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用)2
	13	個人住民税の徴収及び納付
	14	印紙税の基礎知識
	15	受取利息の会計処理
	16	消費税法の概要
	17	消費税の会計処理
	18	原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)1
	19	原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)2
	20	決算の流れ
	21	原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)3
	22	年次決算と月次決算
	23	決算対策・その1(法人の利益の圧縮)
	24	決算対策・その2(法人の損失の圧縮)
	25	経営分析の基礎知識1
	26	経営分析の基礎知識2
	27	経営分析の基礎知識3
	28	経営分析の基礎知識4
	29	プレ効果測定
	30	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	5	
授業科目	給与計算実務	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択必修1	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	所得に関連した税金および社会保険料制度を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な実技演習	
達成目標	効果測定における得点、80点以上を目標とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	所得税総論
	2	所得税の計算体系及び計算
	3	各種所得及び課税標準
	4	所得控除額の計算
	5	課税所得金額及び納付税額計算
	6	年末調整総論
	7	年末調整の対象者
	8	年末調整の時期
	9	年末調整の流れ
	10	年税額の算定
	11	所得税徴収高計算書(納付書)の記載方法
	12	法定調書総論
	13	消費税等と提出範囲の金額基準及び記載方法
	14	給与所得の源泉徴収票及び給与支払報告書の作成
	15	退職所得の源泉徴収票及び特別徴収票の作成
	16	報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書作成方法
	17	不動産の使用料等の支払調書の作成方法
	18	不動産の譲受けの対価の支払調書の作成方法
	19	不動産等の売買又は貸付けのあっせん手数料の支払調書の作成方法
	20	給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表の作成方法
	21	給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表の記入
	22	個人住民税の税額算定
	23	個人住民税の徴収方法
	24	個人住民税の具体例
	25	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出
	26	給与支払報告書・個人別明細書の作成
	27	給与支払報告書・総括表
	28	労災保険料・雇用保険料の徴収事務
	29	労働保険概算・確定保険料申告書と会計処理
	30	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	6
授業科目	マーケティング概論
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択必修2
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	営業・販売職員として必要な販売管理の知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、平均80点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 販売管理概論 2 納品書の作成 3 売上事務の流れ 4 売上の計上 5 振替伝票の作成 6 請求書の作成1 7 請求書の作成2 8 締め日 9 締め日と合計請求書 10 請求に関する様々な条件 11 代金の回収と領収書の発行1 12 代金の回収と領収書の発行2 13 代金の回収管理 14 管理資料の作成 15 複数の取引先との取引1 16 複数の取引先との取引2 17 得意先と販売管理1 18 得意先と販売管理2 19 模擬試験 20 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	7
授業科目	マーケティング研究
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択必修2
授業方法	実習
授業時間	80時間
授業コマ数	40コマ
授業概要	マーケティングにおける市場調査等の基礎的なスキルを習得する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッション
達成目標	効果測定における得点、80点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 マーケティングと顧客満足1ーマーケティングの必要性 2 マーケティングと顧客満足2ーマーケティングの4P 3 マーケティングと顧客満足3ーお客様とは 4 マーケティングと顧客満足4ー製品、商品、サービス 5 マーケティングと顧客満足5ー流通チャンネル 6 マーケティングと顧客満足6ープロモーション戦略 7 会社の目的1ーマーケティングと会社の目的 8 会社の目的2ー財務知識という武器 9 会社の目的3ー決算書 10 会社の目的4ー損益計算書の作成 11 会社の目的5ー利益率の分析 12 会社の目的6ー販売費及び一般管理費の分析 13 会社の目的7ー営業外収益&営業外費用の分析 14 会社の目的8ー特別利益&特別損失の分析 15 会社の目的9ー社員1人あたり利益の分析 16 会社の目的10ー事例研究1 17 会社の目的11ー事例研究2 18 会社の目的12ー事例研究3 19 会社の目的13ー貸借対照表の作成 20 会社の目的14ー流動比率の出し方 21 会社の目的15ー固定比率の出し方 22 会社の目的16ー企業間比較 23 SSにおけるマーケティング 24 売上の構成要素1ー収益力を上げるために 25 売上の構成要素2ー来店客分析 26 売上の構成要素3ー商品分析 27 売上の構成要素4ー費用分析 28 売上の構成要素5ーアンケート作成 29 企業研究発表会VTR鑑賞 30 マーケティング手法の種類

<p>授業計画</p>	<p>31 エリアマーケティングの必要性 32 情報収集の方法 33 情報分析の手法1—3C分析・SWOT分析 34 情報分析の手法1—3C分析・SWOT分析実践練習 35 情報分析の手法2—STP分析・PEST分析 36 情報分析の手法2—STP分析・PEST分析実践練習 37 不況時におけるマーケティング 38 効果測定1 39 効果測定2 40 効果測定3</p>
<p>成績評価方法 (試験実施方法)</p>	<p>効果測定100% 実技による効果測定</p>
<p>備考</p>	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	8
授業科目	マーケティング実習
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	3学期
科目区分	選択必修2
授業方法	実習
授業時間	120時間
授業コマ数	60コマ
授業概要	市場調査から企画書作成までの一連の流れを学習する
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	課題研究発表において、有識者より一定の評価を得ることを目標とする
教科書	オリジナルテキスト・配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 市場調査1 2 市場調査2 3 市場調査3 4 市場調査4 5 企画立案1 6 企画立案2 7 企画立案3 8 店舗見学計画1 9 店舗見学計画2 10 店舗見学1 11 店舗見学2 12 店舗見学3 13 店舗見学4 14 1枚企画書製作1 15 1枚企画書製作2 16 1枚企画書製作3 17 1枚企画書製作4 18 1枚企画書製作5 19 1枚企画書製作6 20 課題研究プレ発表1 21 課題研究プレ発表1 振り返り 22 企画内容精査1 23 企画書制作1 24 企画書制作2 25 企画書制作3 26 企画書制作4 27 企画書制作5 28 店舗見学計画3 29 店舗見学計画4 30 店舗見学5

<p style="text-align: center;">授業計画</p>	<p>31 店舗見学 6 32 店舗見学 7 33 店舗見学 8 34 企画書制作 6 35 企画書制作 7 36 企画書制作 8 37 企画書制作 9 38 企画書制作 10 39 企画書制作 11 40 企画書制作 12 41 企画内容精査 2 42 企画内容精査 3 43 プレゼンテーション企画 44 文章表現校正 1 45 文章表現校正 2 46 文章表現校正 3 47 視覚表現校正 1 48 視覚表現校正 2 49 視覚表現校正 3 50 視覚表現校正 4 51 視覚表現校正 5 52 視覚表現校正 6 53 パブリックスピーキング 1 54 パブリックスピーキング 2 55 パブリックスピーキング 3 56 パブリックスピーキング 4 57 パブリックスピーキング 5 58 パブリックスピーキング 6 59 課題研究発表 1 60 課題研究発表 1 振り返り</p>
<p>成績評価方法 (試験実施方法)</p>	<p>研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評</p>
<p>備考</p>	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	9
授業科目	プレゼンテーション実習
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	3学期
科目区分	選択必修2
授業方法	実習
授業時間	80時間
授業コマ数	40コマ
授業概要	プレゼンテーションにおける、発表のスキルを習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	効果測定における得点、80点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト・配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 パワーポイント実習1 2 パワーポイント実習2 3 パワーポイント実習3 4 パワーポイント実習4 5 パワーポイント実習5 6 パワーポイント実習6 7 パワーポイント実習7 8 全体の構成を考える 9 ストーリーの検討 10 論理展開の研究 11 資料収集1 12 資料収集2 13 パワーポイントデータ作成1 14 パワーポイントデータ作成2 15 パワーポイントデータ作成3 16 パワーポイントデータ作成4 17 パワーポイントデータ作成5 18 「伝える」ことの意味 19 印象 20 話し方の基本ルール1 21 話し方の基本ルール2 22 話し方の基本ルール3 23 アイコンタクトの基本ルール1 24 アイコンタクトの基本ルール2 25 ボディランゲージの基本ルール1 26 ボディランゲージの基本ルール2 27 ボディランゲージの基本ルール3 28 ボディランゲージの基本ルール4 29 ボディランゲージの基本ルール5 30 質問に対する正しい答え方1

<p style="text-align: center;">授業計画</p>	<p>31 質問に対する正しい答え方 2 32 質問に対する正しい答え方 3 33 プレゼンテーション実演 1 34 プレゼンテーション実演 2 35 プレゼンテーション実演 3 36 プレゼンテーション実演 4 37 プレゼンテーション実演 5 38 プレゼンテーション実演 6 39 プレゼンテーション実演 7 40 効果測定</p>
<p>成績評価方法 (試験実施方法)</p>	<p>効果測定100% 実技による効果測定</p>
<p>備考</p>	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	10	
授業科目	プログラム言語実習 I	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択必修 3	
授業方法	実習	
授業時間	6 0 時間	
授業コマ数	3 0 コマ	
授業概要	情報処理に携わる者として必要なJAVAに関する知識を習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	効果測定における得点、8 0 点以上を目標とする	
教科書	秀和システム Javaのオブジェクト指向がゼットイにわかる本	
特記		
授業計画	1	はじめてのJAVA、変数を使う
	2	制御構文・分岐・if文
	3	制御構文・分岐・switch文、制御構文・繰り返し・do-while文
	4	制御構文・繰り返し・while文、for文
	5	制御構文・繰り返し、基本型と演算
	6	配列 1、配列 2
	7	配列3、演習 1
	8	第1回効果測定
	9	メソッド 1、メソッド 2、メソッド 3
	10	クラスの基本
	11	日付クラスの作成
	12	クラス変数とクラスメソッド 1
	13	クラス変数とクラスメソッド 2、パッケージ
	14	クラスの派生と多相性(継承)・(ポリモーフィズム)・(継承とアクセス性)
	15	第 2 回効果測定
	16	抽象クラス
	17	インタフェース
	18	文字と文字列
	19	例外処理
	20	第 3 回効果測定
	21	総合演習 1
	22	総合演習 2
	23	総合演習 3
	24	総合演習 4
	25	総合演習 5
	26	総合演習 6
	27	総合演習 7
	28	総合演習 8
	29	総合演習 9
	30	第 4 回効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	11	
授業科目	プログラム言語実習Ⅱ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択必修3	
授業方法	実習	
授業時間	80時間	
授業コマ数	40コマ	
授業概要	Webシステム開発に必要なHTML5&CSS3に関する知識を習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	効果測定における得点、80点以上を目標とする	
教科書	インプレス いちばんやさしいHTML5&CSS3の教本	
特記		
授業計画	1	Webサイトを作成する準備
	2	HTMLとは
	3	HTMLの基本構造を知る、タグの基本的な書き方を知る
	4	代表的な要素について学ぶ、ディレクトリとパスについて学ぶ
	5	HTMLを書いてみよう
	6	Webページに画像を挿入する、読みやすいHTMLを書く
	7	完成形をイメージする、ページの骨組みを作成する
	8	ヘッダーとグローバルナビゲーションを作成する
	9	メインエリアとパンくずリストを作成する
	10	サイドバーとフッターを作成する
	11	共通ページをもとにしてトップページを作成する
	12	講座案内ページの表組みを作成する、ギャラリーページの画像リストを作成する
	13	お問い合わせフォームを作成する。
	14	模擬Webサイト作成1
	15	模擬Webサイト作成2
	16	第1回効果測定
	17	CSSとは、CSSの基本構造を知る、セレクタについて理解する
	18	CSSが競合するスタイルを解決する仕組みを知る
	19	スタイルの継承について、文字の書式を設定するプロパティを知る
	20	色の指定方法を知る、要素のサイズと間隔の指定方法を理解する
	21	Webページの主なレイアウトパターンを知る
	22	フロートを利用したレイアウト方法を理解する
	23	ディスプレイを利用したレイアウト方法を理解する
	24	ポジションを利用したレイアウトを理解する
	25	CSSを書いてみよう
	26	タイプセレクタを用いてページ全体の書式を整える
	27	ボーダーと背景でメインコンテンツの見出しを装飾する
	28	幅を設定してヘッダーエリアを整える
	29	フロートを利用してグローバルナビゲーションを整える

<p>授業計画</p>	<p>30 メイン部分を2段組みにする 31 ボーダーと背景設定を組み合わせでサイドバー内を整える 32 立体的なボタン作成、フッターナビゲーションのインライン化 33 疑似要素を使ってパンくずリストを整える 34 アニメーションによる視覚効果を追加してみよう 35 トップページのデザインを整える 36 講座案内の表組みを装飾する 37 ギャラリーの写真を格子状に並べる 38 フォームを装飾する 39 CSS実践 40 第2回効果測定</p>
<p>成績評価方法 (試験実施方法)</p>	<p>効果測定100% 実技による効果測定</p>
<p>備考</p>	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	12
授業科目	システム開発演習
実務家教員授業	授業担当者：富田 佑介
	実務経験：2008年4月から2013年3月まで株式会社富士通九州システムズでの勤務、現在はシステム開発業務及び情報職種向けの新人研修等に携わる。
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択必修3
授業方法	演習
授業時間	100時間
授業コマ数	50コマ
授業概要	Webシステム開発に必要なJavaScriptに関する知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、80点以上を目標とする
教科書	SBクリエイティブ 徹底マスターJavaScriptの教科書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 JavaScriptの概要1 2 JavaScriptの概要2 3 プログラムの実行方法と書き方1 4 プログラムの実行方法と書き方2 5 プログラムの実行方法と書き方3 6 変数と値1 7 変数と値2 8 変数と値3 9 オブジェクト・配列・関数の基礎1 10 オブジェクト・配列・関数の基礎2 11 オブジェクト・配列・関数の基礎3 12 式と演算子1 13 式と演算子2 14 式と演算子3 15 Webブラウザでの入出力1 16 Webブラウザでの入出力2 17 Webブラウザでの入出力3 18 制御構文1 19 制御構文2 20 制御構文3 21 関数1 22 関数2 23 関数3 24 第1回効果測定 25 オブジェクト1 26 オブジェクト2 27 オブジェクト3 28 オブジェクト4 29 配列のより詳しい機能1

<p style="text-align: center;">授業計画</p>	<p>30 配列のより詳しい機能 2 31 バグとエラーへの対処 32 正規表現 1 33 正規表現 2 34 Webブラウザのオブジェクト 1 35 Webブラウザのオブジェクト 2 36 ドキュメントの制御 1 37 ドキュメントの制御 2 38 ドキュメントの制御 3 39 イベント処理 1 40 イベント処理 2 41 イベント処理 3 42 HTTPの制御(Ajax) 1 43 HTTPの制御(Ajax) 2 44 MVCモデルによるプログラムの設計 1 45 MVCモデルによるプログラムの設計 2 46 コンストラクタとクラス構文 1 47 コンストラクタとクラス構文 2 48 APIの活用 1 49 APIの活用 2 50 第 2 回効果測定</p>
<p style="text-align: center;">成績評価方法 (試験実施方法)</p>	<p>効果測定100% 実技による効果測定</p>
<p style="text-align: center;">備考</p>	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	13
授業科目	プログラム実習
実務家教員授業	授業担当者：富田 佑介
	実務経験：2008年4月から2013年3月まで株式会社富士通九州システムズでの勤務、現在はシステム開発業務及び情報職種向けの新人研修等に携わる。
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択必修3
授業方法	実習
授業時間	100時間
授業コマ数	50コマ
授業概要	システム開発からプレゼンテーションに至るまでの流れを学習する
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	課題研究を制作し、有識者より一定の評価を得る
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本設計1 2 基本設計2 3 基本設計3 4 基本設計4 5 基本設計5 6 基本設計6 7 外部設計1 8 外部設計2 9 外部設計3 10 外部設計4 11 外部設計5 12 外部設計6 13 内部設計書1 14 内部設計書2 15 内部設計書3 16 内部設計書4 17 内部設計書5 18 テスト仕様書1 19 テスト仕様書2 20 テスト仕様書3 21 テスト仕様書4 22 テスト仕様書5 23 テスト仕様書6 24 プレゼンテーション要素1 25 プレゼンテーション要素2 26 プレゼンテーション要素3 27 企画書 28 ストーリープランニング 29 情報の分類

授業計画	30 図解 31 シナリオ確認 32 リラクゼーション 33 卒業研究制作 1 34 卒業研究制作 2 35 卒業研究制作 3 36 卒業研究制作 4 37 卒業研究制作 5 38 卒業研究制作 6 39 卒業研究制作 7 40 卒業研究制作 8 41 卒業研究制作 9 42 卒業研究制作 1 0 43 卒業研究制作 1 1 44 卒業研究制作 1 2 45 卒業研究制作 1 3 46 卒業研究制作 1 4 47 卒業研究制作 1 5 48 卒業研究制作 1 6 49 卒業研究制作 1 7 50 卒業研究発表
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	14	
授業科目	オフィスワーク実習	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	ビジネスの場における実践的な立ち居振る舞いを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実技演習	
達成目標	効果測定における得点、80点以上を目標とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	挨拶の必要性
	2	基本的な挨拶の方法
	3	状況に応じた挨拶の使い分け
	4	笑顔とお辞儀の練習
	5	敬語の必要性
	6	敬語の種類
	7	間違いやすい敬語表現
	8	クッション言葉
	9	状況に応じた言葉遣い
	10	来客応対
	11	名刺交換の基本
	12	名刺交換の実習
	13	名刺交換の応用実習
	14	営業マナー実習1 訪問の流れ
	15	営業マナー実習2 訪問時の基本フレーズ
	16	訪問マナー実習1 アポイントメント
	17	訪問マナー実習2 訪問当日までの準備
	18	訪問マナー実習3 受付・応接室でのポイント
	19	訪問マナー実習4 訪問後のフォロー
	20	応酬話法
	21	商品説明実習1 説明内容に関する知識
	22	商品説明実習2 説明内容の準備
	23	商品説明実習3 交換を持たれる
	24	コミュニケーションの三要素
	25	クレームとは
	26	クレーム応対方法
	27	電話でのクレーム応対
	28	店内でのクレーム応対
	29	効果測定1
	30	効果測定1 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	15	
授業科目	マナー接遇応用	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	8 0 時間	
授業コマ数	4 0 コマ	
授業概要	臨機応変な電話応対や接客スキル、PC操作を習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	効果測定における得点、80点以上を目標とする	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	仮想オフィス実習—接遇編 1
	2	仮想オフィス実習—接遇編 2
	3	仮想オフィス実習—接遇編 3
	4	仮想オフィス実習—接遇編 4
	5	仮想オフィス実習—接遇編 5
	6	仮想オフィス実習—電話応対編 1
	7	仮想オフィス実習—電話応対編 2
	8	仮想オフィス実習—電話応対編 3
	9	仮想オフィス実習—電話応対編 4
	10	仮想オフィス実習—電話応対編 5
	11	仮想オフィス実習—PC操作編 1
	12	仮想オフィス実習—PC操作編 2
	13	仮想オフィス実習—PC操作編 3
	14	仮想オフィス実習—PC操作編 4
	15	仮想オフィス実習—PC操作編 5
	16	仮想オフィス実習—業務指示編 1
	17	仮想オフィス実習—業務指示編 2
	18	仮想オフィス実習—業務指示編 3
	19	仮想オフィス実習—業務報告編 1
	20	仮想オフィス実習—業務報告編 2
	21	仮想オフィス実習—業務報告編 3
	22	仮想オフィス実習—接遇（応用）編 1
	23	仮想オフィス実習—接遇（応用）編 2
	24	仮想オフィス実習—接遇（応用）編 3
	25	仮想オフィス実習—接遇（応用）編 4
	26	仮想オフィス実習—電話応対（応用）編 1
	27	仮想オフィス実習—電話応対（応用）編 2
	28	仮想オフィス実習—電話応対（応用）編 3
	29	仮想オフィス実習—電話応対（応用）編 4
	30	仮想オフィス実習—事務処理編 1

<p>授業内容</p>	<p>31 仮想オフィス実習—事務処理編 2 32 仮想オフィス実習—事務処理編 3 33 仮想オフィス実習—事務処理編 4 34 仮想オフィス実習—事務処理編 5 35 仮想オフィス実習—総合 1 36 仮想オフィス実習—総合 2 37 仮想オフィス実習—総合 3 38 仮想オフィス実習—総合 4 39 仮想オフィス実習—総合 5 40 効果測定</p>
<p>成績評価方法 (試験実施方法)</p>	<p>平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度</p>
<p>備考</p>	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	16
授業科目	総合演習Ⅳ（ビジネス行動論）
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	50時間
授業コマ数	25コマ
授業概要	就職活動の基礎的な面接対策
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な実技演習
達成目標	面接試験における所作や正しい言葉遣い、自己表現ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 面接試験のねらい・面接試験の心構え 2 服装身だしなみ・印象について 3 面接試験の形態 4 面接試験における質問研究1 5 面接試験における質問研究2 6 面接試験における質問研究3 7 面接試験における質問研究4 8 入退室の仕方1 9 入退室の仕方2 10 集団面接と個人面接の違い 11 集団面接の評価 12 面接官の見ているポイント 13 自己PRについて 14 自己分析1 15 自己分析2 16 自己分析3 17 自己分析4 18 自己分析5 19 志望動機について 20 集団面接実践1 21 集団面接実践2 22 集団面接映像確認 23 個人面接実践1 24 個人面接実践2 25 個人面接映像確認
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	17	
授業科目	一般教養	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	電卓の操作方法を学び、計算演習を行う	
授業の進め方	電卓と電卓大会用問題を使用した技能演習	
達成目標	数値演算を通じた、計数能力の向上	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	加減算演習1
	2	加減算演習2
	3	乗除算演習1
	4	乗除算演習2
	5	伝票算演習1
	6	伝票算演習2
	7	大会用問題演習1
	8	大会用問題演習2
	9	大会用問題演習3
	10	大会用問題演習4
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	18	
授業科目	適性検査演習	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	3学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	就職試験の適性検査に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	就職試験の適性検査に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国語（語意）
	2	国語（長文読解）
	3	数学（式の計算・図形）
	4	数学（文章題）
	5	英語（基本熟語）
	6	英語（基本文法）
	7	社会（地理・政治）
	8	社会（日本史・世界史）
	9	言語（基礎）
	10	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	19	
授業科目	就職活動対策	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	150時間	
授業コマ数	75コマ	
授業概要	就職活動における一連の流れを学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	就職活動における活動ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	仕事・会社選びの基礎知識 1
	2	仕事・会社選びの基礎知識 2
	3	仕事・会社選びの基礎知識 3
	4	仕事・会社選びの基礎知識 4
	5	求人票からの情報
	6	求人票の見方・注意点 1
	7	求人票の見方・注意点 2
	8	会社四季報の見方
	9	企業へのアクセス
	10	情報サイトの登録及び使い方 1
	11	情報サイトの登録及び使い方 2
	12	応募書類の準備 1
	13	応募書類の準備 2
	14	エントリーシートの作成 1
	15	エントリーシートの作成 2
	16	エントリーシートの作成 3
	17	就職活動におけるスケジュール管理とトラブル対応
	18	説明会・選考試験 1
	19	説明会・選考試験 2
	20	説明会・選考試験 3
	21	内定及び内定後のフォロー
	22	面接試験のねらい
	23	面接試験の心構え
	24	就職活動を意識した身だしなみ
	25	個別面接
	26	集団面接
	27	面接のプロセス
	28	質問スタイル
	29	面接試験によく登場する質問 1 自己PRの内容から
	30	面接試験によく登場する質問 2 志望動機の内容から

授業計画	31	面接試験によく登場する質問 3	志望意欲の確認	
	32	面接試験によく登場する質問 4	進路決定の自主性確認	
	33	面接試験によく登場する質問 5	自己研鑽意欲の確認	
	34	面接試験によく登場する質問 6	私生活での生活館や創造性	
	35	面接試験によく登場する質問 7	社会の物事に関する興味関心	
	36	面接試験によく登場する質問 8	金銭感覚	
	37	面接試験によく登場する質問 9	人間関係への関心	
	38	面接試験によく登場する質問 10	課題認識度	
	39	面接試験によく登場する質問 11	条件許容度	
	40	面接試験によく登場する質問 12	意識、野望チェック	
	41	面接試験によく登場する質問 13	柔軟度の確認	
	42	就職体験談の見方、書き方		
	43	一般常識試験		
	44	適性検査の種類と対策 1		
	45	適性検査の種類と対策 2		
	46	作文演習 1	就職に関するテーマ	
	47	作文演習 2	学生生活に関するテーマ	
	48	作文演習 3	自分自身に関するテーマ	
	49	作文演習 4	時事に関するテーマ	
	50	集団面接練習 傾向と対策		
	51	集団面接実技 1		
	52	集団面接実技 1	映像確認	
	53	集団面接実技 2		
	54	集団面接実技 2	映像確認	
	55	個人面接実技 1		
	56	個人面接実技 1	映像確認	
	57	個人面接実技 2		
	58	個人面接実技 2	映像確認	
	59	言語対策基礎 1		
	60	言語対策基礎 2		
	61	言語対策基礎 3		
	62	言語対策基礎 4		
	63	言語対策基礎 5		
	64	言語対策基礎 6		
	65	非言語対策 1		
	66	非言語対策 2		
	67	非言語対策 3		
	68	非言語対策 4		
	69	非言語対策 5		
	70	非言語対策 6		
	71	就職活動実践 1		
	72	就職活動実践 2		
	73	就職活動実践 3		
	74	就職活動実践 4		
	75	就職活動実践 5		
	成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度		
	備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	20	
授業科目	総合演習 X I（官庁・企業研究）	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	1 5 0 時間	
授業コマ数	7 5 コマ	
授業概要	就職活動における職種理解・業界理解・企業研究に関する学習	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	業界研究・職種研究・企業研究ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	職種研究 1
	2	職種研究 2
	3	職種研究 3
	4	職種研究 4
	5	職種別研究 1
	6	職種別研究 2
	7	職種別研究 3
	8	職種別研究 4
	9	職種別研究 5
	10	職種研究シート
	11	業界研究 1
	12	業界研究 2
	13	業界研究 3
	14	業界研究 4
	15	業界研究 5
	16	業界別研究 1
	17	業界別研究 2
	18	業界別研究 3
	19	業界別研究 4
	20	業界別研究 5
	21	同業界の企業抽出 1
	22	同業界の企業抽出 2
	23	同業界の企業抽出 3
	29	業界研究シート
	24	企業研究 1
	25	企業研究 2
	26	企業研究 3
	27	企業研究 4
	28	企業研究 5
	30	中間報告会

授業計画	31	企業別研究 6		
	32	企業別研究 7		
	33	企業別研究 8		
	34	企業別研究 9		
	35	企業別研究 1 0		
	36	企業比較 1		
	37	企業比較 2		
	38	企業発表 1		
	39	企業発表 2		
	40	グループディスカッション 1	企業研究の情報交換会	
	41	グループディスカッション 2	企業研究の情報交換会	
	42	グループディスカッション 3	企業研究の情報交換会	
	43	グループディスカッション 4	まとめ 1	
	44	グループディスカッション 5	まとめ 2	
	45	企業選択とエントリー 1		
	46	企業選択とエントリー 2		
	47	企業選択とエントリー 3		
	48	合同企業説明会参加 1		
	49	合同企業説明会参加 2		
	50	グループディスカッション 6	説明会の情報交換会	
	51	グループディスカッション 7	説明会の情報交換会	
	52	グループディスカッション 7	まとめ 3	
	53	求人票の見方 1		
	54	求人票の見方 2		
	55	会社四季報の見方		
	56	会社四季報研究 1		
	57	会社四季報研究 2		
	58	会社四季報研究 3		
	59	会社四季報研究 4		
	60	会社四季報研究 5		
	61	就職サイト検索 1		
	62	就職サイト検索 2		
	63	就職サイト検索 3		
	64	就職サイト検索 4		
	65	就職サイト検索 5		
	66	就職サイト検索 6		
	67	就職サイト検索 7		
	68	店舗見学 1		
	69	店舗見学 2		
	70	店舗見学 3		
	71	総合実践 1		
	72	総合実践 2		
	73	総合実践 3		
	74	総合実践 4		
	75	総合実践 5		
	成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度		
	備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	21	
授業科目	総合演習Ⅱ（漢字）	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身に付ける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定2級に合格する	
教科書	オリジナルテキスト・問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	漢字日々プリント1
	2	漢字日々プリント2
	3	漢字日々プリント3
	4	漢字日々プリント4
	5	漢字項目別問題1
	6	漢字項目別問題2
	7	漢字項目別問題3
	8	漢字項目別問題4
	9	漢字項目別問題5
	10	漢字直前模試1
	11	漢字直前模試2
	12	漢字直前模試3
	13	漢字直前模試4
	14	漢字直前模試5
	15	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	22	
授業科目	オフィスWord基礎	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	MOSWord試験に合格するための実践知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	MOSWord試験に合格するための実践知識を習得する	
教科書	日経BP社 攻略問題集	
特記		
授業計画	1	文書の書式を設定する
	2	文書のオプションと表示をカスタマイズする
	3	文字列や段落を挿入する
	4	文字列や段落の書式を設定する
	5	表を作成する
	6	リストを作成する
	7	参照のための情報や記号を作成する、管理する
	8	標準の参考資料を作成する、管理する
	9	グラフィック要素を挿入する
	10	SmartArtを挿入する、書式を設定する
	11	練習問題1（実習・解説）
	12	練習問題2（実習・解説）
	13	練習問題3（実習・解説）
	14	練習問題4（実習・解説）
	15	練習問題5（実習・解説）
	16	模擬試験1（実習・解説）
	17	模擬試験2（実習・解説）
	18	模擬試験3（実習・解説）
	19	模擬試験4（実習・解説）
	20	模擬試験5（実習・解説）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	23	
授業科目	マナー接遇基礎	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	3学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	50時間	
授業コマ数	25コマ	
授業概要	接客に関する基礎知識を習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実技演習	
達成目標	効果測定における得点、80点以上を目標とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	接遇の心構え
	2	お茶の入れ方
	3	お茶の出し方
	4	接遇練習1
	5	接遇練習1の振り返り
	6	お見送り、後片付け
	7	接遇の流れ
	8	接遇練習2
	9	接遇練習2の振り返り
	10	接客販売の心得
	11	キャラクターの演じ方
	12	お客様の心理を理解する
	13	接客における基本用語
	14	店内接客練習1
	15	店内接客練習1 振り返り
	16	状況別の店内接客
	17	電話での問い合わせ
	18	店内接客練習2
	19	店内接客練習2 振り返り
	20	接遇練習3
	21	接遇練習3 振り返り
	22	接遇練習4
	23	接遇練習4 振り返り
	24	笑顔・お辞儀
	25	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	24	
授業科目	ビジネスコミュニケーション演習	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	50時間	
授業コマ数	25コマ	
授業概要	電話応対における基本的なスキルを習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	効果測定における得点、80点以上を目標とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 電話応対の基本マナー 2 受け方の基本 3 受け方の実習1 取り次ぐ場合 4 受け方の実習2 不在の場合 5 受け方の実習6 職場内にいるが電話中の場合 6 受け方の実習7 伝言を受ける場合 7 道案内実習1 8 かけ方の基本 9 かけ方の練習1 取り次いでもらえた場合 10 かけ方の練習2 取り次いでもらえなかった場合 11 かけ方の練習3 伝言を依頼する場合 12 状況別の対応方法1 間違い電話がかかってきた場合 13 状況別の対応方法2 自分で判断できない場合 14 状況別の対応方法3 相手の声が聞き取れない場合 15 状況別の対応方法4 途中で電話が切れてしまった場合 16 状況別の対応方法5 相手が名乗らない場合 17 状況別の対応方法6 相手の名前が聞き取れなかった場合 18 電話応対実習1 19 電話応対実習1 振り返り 20 電話応対実習2 21 電話応対実習2 振り返り 22 伝言の復唱 23 電話応対実習3 24 電話応対実習3 振り返り 25 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	25	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	50時間	
授業コマ数	25コマ	
授業概要	社会人としての基本的なビジネスマナーを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な実技演習	
達成目標	模擬試験における得点、80点以上を目標とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	郵便物と荷物の種類
	2	郵便物の特殊取扱い
	3	大型郵便物の発送方法
	4	ファックス送信状の作成方法
	5	慶事のマナー（招待状・案内状の返信方法）
	6	慶事のマナー（祝電の送り方）
	7	慶事のマナー（服装）
	8	慶事のマナー（結婚式）
	9	慶事のマナー（披露宴）
	10	弔事のマナー（参列時）
	11	弔事のマナー（通夜、告別式の参列後）
	12	弔事のマナー（法要の基礎知識）
	13	贈答のマナー
	14	表書き・水引の知識
	15	お見舞いのマナー
	16	お返しのマナー
	17	テーブルマナーとは
	18	和食・洋食のマナー
	19	立食パーティー
	20	お酒の飲み方
	21	職場でのNG行動（始業・身だしなみ・勤務態度）
	22	職場でのNG行動（書類の取り扱い・情報セキュリティ）
	23	ビジネスマナーの基本用語1
	24	ビジネスマナーの基本用語2
	25	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	26
授業科目	簿記論概論
実務家教員授業	-
学部・学科	経理本科 1 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	1 1 0 時間
授業コマ数	5 5 コマ
授業概要	税理士試験簿記論の学習をスタートするための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験簿記論の学習をスタートするための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 簿記の概要 I 2 現金 3 現金過不足 4 当座預金 5 当座借越 6 債権債務 7 手形・手形の割引・裏書き 8 商品売買・三分法 9 商品売買・売上原価計上法 10 商品売買・分記法 11 商品売買・総記法 12 商品売買・原価率 13 商品売買・利益率 14 商品売買・返品 15 商品売買・値引 16 商品売買・割戻 17 売上の計上基準 18 仕入の計上基準 19 減価償却・定額法 20 減価償却・定率法 21 減価償却・級数法 22 減価償却・生産高比例法 23 固定資産・除却 24 固定資産・売却 25 固定資産・買換 26 無形固定資産 27 ソフトウェア・取得原価の算定 28 ソフトウェアの償却 29 貸倒引当金 30 貸倒損失

授業計画	31 給料 32 賞与 33 消費税等 34 電子記録債権 35 クレジット売掛金 36 租税公課 37 確認テスト1 38 確認テスト1 解説 39 伝票会計 40 1 伝票制 41 3 伝票制 42 5 伝票制 43 純資産・資本金、資本剰余金 44 純資産・利益剰余金 45 売買目的有価証券 46 満期保有目的の債券 47 退職給付会計 48 保険金の取り扱い 49 見渡し小切手 50 見取付小切手 51 商品評価損 52 商品棚卸減耗損 53 まとめ問題 54 模擬試験 55 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	27	
授業科目	財務諸表論概論	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	1 1 0 時間	
授業コマ数	5 5 コマ	
授業概要	税理士試験財務諸表論の学習をスタートするための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験財務諸表論の学習をスタートするための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	財務諸表作成の基礎 I
	2	財務諸表作成の基礎 II
	3	財務諸表作成の基礎 II
	4	現金及び預金
	5	財務諸表論の基礎概念 I 【理論】
	6	債権債務
	7	財務諸表論の基礎概念 I 【理論】
	8	棚卸資産 I (売上原価の算定)
	9	財務諸表論の基礎概念 I 【理論】
	10	棚卸資産 II (返品、値引、割戻、割引)
	11	一般原則 【理論】
	12	固定資産 I (有形固定資産)
	13	一般原則 【理論】
	14	固定資産 II (無形固定資産)
	15	一般原則 【理論】
	16	固定資産 III (ソフトウェア)
	17	一般原則 【理論】
	18	貸倒れ I
	19	損益計算総論 【理論】
	20	給料等
	21	損益計算総論 【理論】
	22	退職給付会計 I
	23	損益計算各論 【理論】
	24	その他の引当金
	25	損益計算各論 【理論】
	26	確認テスト 1
	27	確認テスト 1 解説
	28	税金 I
	29	貸借対照表総論 【理論】
	30	税効果会計 I (基本項目)

授業計画	31 資産総論 I 【理論】 32 有価証券 I 33 棚卸資産 【理論】 34 有価証券 II (その他有価証券) 35 棚卸資産 【理論】 36 社債 37 固定資産 【理論】 38 株主資本項目 I (基本項目) 39 固定資産 【理論】 40 株主資本項目 II (応用項目 I) 41 固定資産 【理論】 42 株主資本変動計算書 43 繰延資産 【理論】 44 現在価値計算 45 繰延資産 【理論】 46 固定資産IV (資産除去債務) 47 負債 I 【理論】 48 固定資産V (減損会計) 49 負債 I 【理論】 50 貸倒れII (キャッシュ・フロー見積法) 51 負債 I 【理論】 52 まとめ問題 53 まとめ問題 【理論】 54 模擬試験 55 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	28	
授業科目	消費税法概論	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	税理士試験消費税法の学習を始める為の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験消費税法に学習を始める為基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	消費税法の概要
	2	課税の対象
	3	非課税
	4	輸出取引等
	5	租税特別措置法における免税
	6	資産の譲渡等の時期
	7	控除対象仕入税額(その1)
	8	売上げに係る対価の返還等
	9	貸倒れが生じた場合
	10	課税売上割合
	11	控除対象仕入税額(その2)
	12	仕入れに係る対価の返還等
	13	納税義務の免除
	14	模擬試験
	15	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	29	
授業科目	法人税法概論	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	税理士試験法人税法の学習を始める為の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験法人税法に学習を始める為基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	ガイダンス1 ガイダンス2 納税義務者の範囲1 納税義務者の範囲2 課税所得の範囲1 課税所得の範囲2 受取配当金の益金不算入1 受取配当金の益金不算入2 減価償却1 減価償却2 減価償却3 減価償却4 交際費等の損金不算入1 交際費等の損金不算入2 交際費等の損金不算入3 寄付金の損金不算入4 寄付金の損金不算入5 寄付金の損金不算入6 租税公課1 租税公課2 租税公課3 納税充当金4 納税充当金5 納税充当金6 収用等1 収用等2 貸倒損失1 貸倒損失2 貸倒損失3 貸倒引当金

授業計画	31 貸倒引当金 1 32 貸倒引当金 2 33 欠損金 1 34 欠損金 2 35 欠損金 3 36 まとめ問題 1 37 まとめ問題 2 38 まとめ問題 3 39 有価証券 1 40 有価証券 2 41 有価証券 3 42 有価証券 4 43 外貨建取引 1 44 外貨建取引 2 45 外貨建取引 3 46 別表四の作成 1 47 別表四の作成 2 48 別表四の作成 3 49 法人税額の計算の基礎 1 50 法人税額の計算の基礎 2 51 法人税額の計算の基礎 3 52 使途秘匿金 1 53 使途秘匿金 2 54 使途秘匿金 3 55 所得税額控除 1 56 所得税額控除 2 57 所得税額控除 3 58 まとめ問題 59 模擬試験 60 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	30	
授業科目	相続税法概論	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	1 2 0 時間	
授業コマ数	6 0 コマ	
授業概要	税理士試験相続税法の学習を始める為の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験相続税法に学習を始める為基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	ガイダンス
	3	相続税法の概要
	4	相続税法の概要
	5	相続税と民法
	6	相続税と民法
	7	相続人
	8	相続人
	9	代襲相続
	10	代襲相続
	11	相続の承認
	12	相続の放棄
	13	相続分
	14	相続分
	15	遺言による財産の取得
	16	遺言による財産の取得
	17	特別養子制度
	18	相続税の納税義務者
	19	相続税の納税義務者
	20	特定納税義務者
	21	特定納税義務者
	22	権利義務の承継
	23	権利義務の承継
	24	財産の所在
	25	財産の所在
	26	生命保険金等
	27	生命保険金等
	28	生命保険金等
	29	保険金
	30	保険金

授業計画	31 まとめ問題 32 まとめ問題 33 まとめ問題 34 理論ガイダンス 35 相続税の納税義務者【理論】 36 相続税の納税義務者【理論】 37 贈与税の納税義務者【理論】 38 贈与税の納税義務者【理論】 39 生命保険金【理論】 40 相続税の非課税資産【理論】 41 低額譲受【理論】 42 低額譲受【理論】 43 債務免除【理論】 44 信託に関する権利【理論】 45 贈与税の非課税資産【理論】 46 相続税の債務控除【理論】 47 相続税法に定める財産評価【理論】 48 未分割遺産に対する相続税の取り扱い【理論】 49 相続税の総額【理論】 50 遺産に係る基礎控除【理論】 51 法定相続人の数【理論】 52 相続税額の加算制度【理論】 53 配偶者の相続税額の軽減【理論】 54 未成年者控除【理論】 55 障害者控除【理論】 56 相次相続控除【理論】 57 外国税額控除【理論】 58 まとめ問題 59 確認テスト 60 確認テスト 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	31
授業科目	簿記論 I・II
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科 1 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	2 2 0 時間
授業コマ数	1 1 0 コマ
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 簿記の概要 I 2 現金 3 現金過不足 4 当座預金 5 当座借越 6 債権債務 7 手形・手形の割引・裏書き 8 電子記録債権・クレジット売掛金 9 商品売買・三分法 10 商品売買・売上原価計上法 11 商品売買・分記法 12 商品売買・総記法 13 商品売買・原価率・利益率・返品・値引・割戻 14 仕入・売上の計上基準 15 減価償却 16 除却・売却・買換 17 無形固定資産 18 ソフトウェア 19 貸倒損失・貸倒引当金 20 給料・賞与 21 法人税等・租税公課 22 消費税等 23 確認テスト 1 24 確認テスト 1 解説 25 資本金・資本準備金 26 自己株式・新株予約権 27 退職給付会計簡便法 28 償却原価法利息法・定額法 29 社債の買入償還 30 確認テスト 2

授業計画	31	確認テスト2 解説
	32	退職給付会計原則法
	33	退職給付会計数理計算上の差異・過去勤務費用
	34	商品売買・売価還元法
	35	外貨建会計の基本的換算方法
	36	為替予約・振当処理・独立処理
	37	ヘッジ会計・ヘッジ取引
	38	ファイナンス・リース取引
	39	オペレーティング・リース取引
	40	試用販売・対照勘定法
	41	試用販売・手許商品区分法
	42	割賦販売・回収基準
	43	割賦販売・回収期限到来基準
	44	小口現金
	45	圧縮記帳・直接減額方式
	46	圧縮記帳・積立金方式
	47	本支店会計
	48	本支店会計
	49	本支店会計
	50	本支店会計
	51	資産除去債務
	52	未着品販売
	53	委託販売
	54	受託販売
	55	企業結合
	56	共通支配下の取引
	57	事業分離
	58	確認テスト3
	59	確認テスト3 解説
	60	連結会計
	61	連結会計
	62	連結会計
	63	会計上の見積りの変更
	64	減価償却方法の変更
	65	過去の誤謬の訂正
	66	会計方針の変更
	67	製造業会計
	68	製造業会計
	69	研究開発費
	70	キャッシュ・フロー計算書(直接法)
	71	キャッシュ・フロー見積法
	72	市場販売のソフトウェア
	73	市場販売のソフトウェア
	74	市場販売のソフトウェア
	75	有価証券の保有目的の変更
	76	新株予約権の取得者側の処理
	77	繰延資産
	78	減価償却
	79	土地再評価差額金
	80	連結会計・持分法
	81	商品売買・洗い替え法

授業計画	82 セール・アンド・リースバック取引 83 リース料の先払い 84 資産除去債務の税効果会計 85 割賦販売の回収不能の取り扱い 86 帳簿組織 87 二重仕訳の削除 88 キャッシュ・フロー計算書(間接法) 89 減損会計・共用資産 90 減損会計・のれん 91 工事契約・工事完成基準 92 工事契約・工事進行基準 93 工事契約・工事損失引当金 94 受注制作のソフトウェア 95 スtock・オプション 96 外貨建転換社債型新株予約権 97 伝票会計 98 1伝票制 99 3伝票制 100 5伝票制 101 在外支店 102 会計方針の変更に係る税効果会計 103 株式交換 104 自社利用のソフトウェア 105 損益の見越・繰り延べ 106 商品有高帳 107 金額推定(仕入・売上グループ) 108 株主資本等変動計算書 109 模擬試験 110 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	32	
授業科目	簿記論Ⅲ・Ⅳ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	2 4 0 時間	
授業コマ数	1 2 0 コマ	
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	確認テスト 5
	2	確認テスト 5 解説
	3	リース会計・残価保証
	4	リース会計・中途解約
	5	金利スワップ
	6	ストック・オプション
	7	連結会計・段階取得
	8	連結税効果
	9	商品売買・小売棚卸法
	10	社債・抽選償還
	11	組織再編会計・段階取得
	12	退職給付会計原則法
	13	退職給付会計数理計算上の差異・過去勤務費用
	14	商品売買・売価還元法
	15	外貨建会計の基本的換算方法
	16	為替予約・振当処理・独立処理
	17	ヘッジ会計・ヘッジ取引
	18	ファイナンス・リース取引
	19	オペレーティング・リース取引
	20	試用販売・対照勘定法
	21	試用販売・手許商品区分法
	22	割賦販売・回収基準
	23	割賦販売・回収期限到来基準
	24	小口現金
	25	圧縮記帳・直接減額方式
	26	圧縮記帳・積立金方式
	27	本支店会計
	28	本支店会計
	29	本支店会計
	30	本支店会計

授業計画	31	資産除去債務
	32	未着品販売
	33	委託販売
	34	受託販売
	35	企業結合
	36	共通支配下の取引
	37	事業分離
	38	連結会計
	39	連結会計
	40	連結会計
	41	会計上の見積りの変更
	42	減価償却方法の変更
	43	過去の誤謬の訂正
	44	会計方針の変更
	45	製造業会計
	46	製造業会計
	47	研究開発費
	48	キャッシュ・フロー計算書(直接法)
	49	キャッシュ・フロー見積法
	50	市場販売のソフトウェア
51	市場販売のソフトウェア	
52	市場販売のソフトウェア	
53	有価証券の保有目的の変更	
54	新株予約権の取得者側の処理	
55	繰延資産	
56	過去試験問題集 60～69	
57	∩	
76	過去試験厳選問題 1～10	
77	∩	
96	実力公開模擬試験 1～4	
97	∩	
104	直前対策模擬試験 1～3	
105	∩	
110	プレ模擬試験 1～2	
111	∩	
114	ヤマ当て講義	
115	全国公開統一模擬試験	
116	∩	
117	直前予想公開模擬試験	
118	∩	
119	模擬試験	
120	模擬試験 解説	
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	33	
授業科目	財務諸表論Ⅰ・Ⅱ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	220時間	
授業コマ数	110コマ	
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	財務諸表作成の基礎Ⅰ
	2	現金及び預金
	3	債権債務
	4	財務諸表論の基礎概念Ⅰ【理論】
	5	棚卸資産Ⅰ(売上原価の算定)
	6	棚卸資産Ⅱ(返品、値引、割戻、割引)
	7	一般原則【理論】
	8	固定資産Ⅰ(有形固定資産)
	9	固定資産Ⅱ(無形固定資産)
	10	固定資産Ⅲ(ソフトウェア)
	11	一般原則【理論】
	12	貸倒れⅠ
	13	損益計算総論【理論】
	14	給料等
	15	損益計算総論【理論】
	16	退職給付会計Ⅰ
	17	損益計算各論【理論】
	18	その他の引当金
	19	損益計算各論【理論】
	20	確認テスト1
	21	確認テスト1 解説
	22	税金Ⅰ
	23	貸借対照表総論【理論】
	24	税効果会計Ⅰ(基本項目)
	25	資産総論Ⅰ【理論】
	26	有価証券Ⅰ
	27	棚卸資産【理論】
	28	有価証券Ⅱ(その他有価証券)
	29	棚卸資産【理論】
	30	社債

授業計画

- 31 固定資産【理論】
- 32 確認テスト2
- 33 確認テスト2 解説
- 34 株主資本項目Ⅰ(基本項目)
- 35 固定資産【理論】
- 36 株主資本項目Ⅱ(応用項目Ⅰ)
- 37 固定資産【理論】
- 38 株主資本変動計算書
- 39 繰延資産【理論】
- 40 現在価値計算
- 41 繰延資産【理論】
- 42 固定資産Ⅳ(資産除去債務)
- 43 負債Ⅰ【理論】
- 44 固定資産Ⅴ(減損会計)
- 45 負債Ⅰ【理論】
- 46 貸倒れⅡ(キャッシュ・フロー見積法)
- 47 負債Ⅰ【理論】
- 48 確認テスト3
- 49 確認テスト3 解説
- 50 外貨建取引Ⅰ
- 51 財務諸表論の基礎概念2【理論】
- 52 外貨建取引Ⅱ
- 53 財務諸表論の基礎概念2【理論】
- 54 固定資産Ⅳ(圧縮記帳)
- 55 損益計算論【理論】
- 56 繰延資産
- 57 損益計算論【理論】
- 58 退職給付会計Ⅱ
- 59 資産総論Ⅱ【理論】
- 60 税金Ⅱ(消費税等)
- 61 資産総論Ⅱ【理論】
- 62 確認テスト4
- 63 確認テスト4 解説
- 64 棚卸資産Ⅲ
- 65 金融商品【理論】
- 66 外貨建取引Ⅲ(外貨建有価証券)
- 67 金融商品【理論】
- 68 固定資産Ⅶ(リース会計)
- 69 金融商品【理論】
- 70 金融商品応用項目Ⅰ(証券投資信託・ゴルフ会員権)
- 71 金融商品【理論】
- 72 確認テスト5
- 73 確認テスト5 解説
- 74 製造業会計
- 75 収益性の低下【理論】
- 76 研究開発費
- 77 収益性の低下【理論】
- 78 新株予約権・新株予約権付社債
- 79 収益性の低下【理論】
- 80 キャッシュ・フロー計算書
- 81 リース会計【理論】

授業計画	82 株主資本Ⅲ(応用項目Ⅱ) 83 研究開発費等会計【理論】 84 負債2【理論】 85 負債2【理論】 86 会計上の変更等Ⅰ 87 純資産会計【理論】 88 会計上の見積りの変更 89 純資産会計【理論】 90 減価償却方法の変更 91 分配可能額 92 税効果会計Ⅲ 93 スtock・オプション会計【理論】 94 連結会計 95 税効果会計【理論】 96 連結会計 97 退職給付会計Ⅲ 98 税効果会計【理論】 99 固定資産Ⅷ(リース会計Ⅱ) 100 会計上の変更及び誤謬の訂正【理論】 101 外貨建取引Ⅳ 102 財務諸表等規則に基づく財務諸表 103 外貨換算会計【理論】 104 共通支配下の取引 105 株式交換 106 企業結合会計・事業分離会計【理論】 107 金利スワップ 108 連結財務諸表【理論】 109 模擬試験 110 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	34	
授業科目	財務諸表論Ⅲ・Ⅳ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	240時間	
授業コマ数	120コマ	
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	会計上の変更等Ⅰ
	2	純資産会計【理論】
	3	会計上の見積りの変更
	4	純資産会計【理論】
	5	減価償却方法の変更
	6	純資産会計【理論】
	7	分配可能額
	8	純資産会計【理論】
	9	税効果会計Ⅲ
	10	ストック・オプション会計【理論】
	11	連結会計
	12	ストック・オプション会計【理論】
	13	連結会計
	14	税効果会計【理論】
	15	連結会計
	16	税効果会計【理論】
	17	退職給付会計Ⅲ
	18	税効果会計【理論】
	19	固定資産Ⅷ(リース会計Ⅱ)
	20	会計上の変更及び誤謬の訂正【理論】
	21	外貨建取引Ⅳ
	22	会計上の変更及び誤謬の訂正【理論】
	23	確認テスト4
	24	確認テスト4 解説
	25	財務諸表等規則に基づく財務諸表
	26	外貨換算会計【理論】
	27	共通支配下の取引
	28	外貨換算会計【理論】
	29	株式交換
	30	企業結合会計【理論】

授業計画	31	金利スワップ
	32	企業結合会計【理論】
	33	会計上の変更等Ⅱ
	34	事業分離会計【理論】
	35	投資不動産
	36	事業分離会計【理論】
	37	敷金等
	38	連結財務諸表【理論】
	39	固定資産Ⅸ(収益的支出)
	40	連結財務諸表【理論】
	41	固定資産Ⅸ(資本的支出)
	42	連結財務諸表【理論】
	43	改正項目(消費税等)
	44	連結財務諸表【理論】
	45	計算問題解答上のレクチャー①
	46	キャッシュ・フロー計算書【理論】
	47	計算問題解答上のレクチャー②
	48	キャッシュ・フロー計算書【理論】
	49	計算問題解答上のレクチャー③
	50	四半期財務諸表【理論】
	51	確認テスト5
	52	確認テスト5 解説
	53	収益認識に関する会計基準【理論】
	54	収益認識に関する会計基準【理論】
	55	収益認識に関する会計基準【理論】
	56	配分と評価
	57	収益認識(投資のリスクからの解放)
	58	資産及び負債の貸借対照表能力
	59	純利益と包括利益
	60	財務諸表論の基礎概念【理論】
	61	一般原則【理論】
62	一般原則【理論】	
63	一般原則【理論】	
64	損益計算書総論【理論】	
65	損益計算書総論【理論】	
66	損益計算書総論【理論】	
67	損益計算書各論【理論】	
68	損益計算書各論【理論】	
69	損益計算書各論【理論】	
70	貸借対照表論【理論】	
71	資産総論1【理論】	
72	資産総論1【理論】	
73	棚卸資産【理論】	
74	棚卸資産【理論】	
75	固定資産【理論】	
76	固定資産【理論】	
77	固定資産【理論】	
78	繰延資産【理論】	
79	負債【理論】	
80	負債【理論】	
81	負債【理論】	

授業計画	82 財務諸表論の基礎概念【理論】 83 財務諸表論の基礎概念【理論】 84 損益計算緒論【理論】 85 損益計算緒論【理論】 86 資産総論2【理論】 87 資産総論2【理論】 88 金融商品【理論】 89 収益性の低下【理論】 90 リース会計【理論】 91 純資産【理論】 92 税効果会計【理論】 93 企業結合・事業分離【理論】 94 連結会計【理論】 95 連結会計【理論】 96 実力公開模擬試験1～4 ↳ 104 プレ模擬試験1～2 ↳ 108 直前対策模擬試験1～3 ↳ 114 ヤマ当て講義 115 全国統一公開模擬試験 116 全国統一公開模擬試験 解説 117 直前予想公開模擬試験 118 直前予想公開模擬試験 解説 119 模擬試験 120 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40点 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	35
授業科目	消費税法Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	3学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 消費税法の概要 2 課税の対象 3 課税の対象【理論】 4 非課税 5 非課税【理論】 6 輸出取引等 7 輸出取引等【理論】 8 輸出物品販売場における免税【理論】 9 租税特別措置法における免税 10 資産の譲渡等の時期 11 国内取引の判定【理論】 12 控除対象仕入税額(その1) 13 仕入に係る消費税額の控除【理論】 14 売上げに係る対価の返還等 15 貸倒れが生じた場合 16 売上げに係る対価の返還等【理論】 17 貸倒れが生じた場合【理論】 18 課税仕入れの範囲・課税仕入れ等の時期 19 課税売上割合(基礎編) 20 課税売上割合【理論】 21 控除対象仕入税額(その2) 22 課税売上割合に準ずる割合 23 仕入に係る対価の返還等 24 仕入に係る対価の返還等【理論】 25 納税義務の免除 26 納税義務の免除【理論】 27 確認テスト1 28 確認テスト1 解説 29 模擬試験 30 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	36	
授業科目	消費税法Ⅲ・Ⅳ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	140時間	
授業コマ数	70コマ	
授業概要	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	中間申告に係る納付税額【理論】
	2	課税売上割合(応用)
	3	課税仕入れ等の分類
	4	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例
	5	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例【理論】
	6	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整
	7	調整対象固定資産の変動【理論】
	8	調整対象固定資産の転用【理論】
	9	まとめ問題
	10	まとめ問題
	11	まとめ問題
	12	まとめ問題
	13	まとめ問題
	14	まとめ問題
	15	確認テスト2
	16	確認テスト2 解説
	17	特定期間における課税売上高による納税義務の免除の特例
	18	特定期間における課税売上高による納税義務の免除の特例【理論】
	19	相続があった場合の納税義務の免除の特例
	20	相続があった場合の納税義務の免除の特例【理論】
	21	合併があった場合の納税義務の免除の特例
	22	合併があった場合の納税義務の免除の特例【理論】
	23	会社分割などがあった場合の納税義務の免除の特例
	24	会社分割などがあった場合の納税義務の免除の特例【理論】
	25	新設法人の納税義務の免除の特例
	26	新設法人の納税義務の免除の特例【理論】
	27	特定新規設立法人の納税義務の免除特例
	28	特定新規設立法人の納税義務の免除特例【理論】
	29	合併があった場合の中間申告
	30	合併があった場合の中間申告【理論】

<p style="text-align: center;">授業計画</p>	<p>31 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整 32 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整【理論】 33 課税標準 34 課税標準【理論】 35 まとめ問題 36 まとめ問題 37 まとめ問題 38 まとめ問題 39 確認テスト3 40 確認テスト3 解説 41 簡易課税制度 42 簡易課税制度 43 簡易課税制度 44 簡易課税制度【理論】 45 簡易課税制度【理論】 46 新設法人が調整対象固定資産の仕入れ等を行った場合の納税義務の免除 47 新設法人が調整対象固定資産の仕入れ等を行った場合の納税義務の免除 48 特定新設法人が調整対象固定資産の仕入等を行った場合の納税義務の免除 49 特定新設法人が調整対象固定資産の仕入等を行った場合の納税義務の免除 50 高額特定資産を取得した場合の納税義務の免除の特例 51 高額特定資産を取得した場合の納税義務の免除の特例【理論】 52 納税義務の免除特例①【理論】 53 納税義務の免除特例②【理論】 54 納税義務の免除特例③【理論】 55 納税義務の免除特例④【理論】 56 納税義務の免除特例⑤【理論】 57 納税義務の免除特例⑥【理論】 58 納税義務の免除特例⑦【理論】 59 納税義務の免除特例⑧【理論】 60 納税義務の免除特例⑨【理論】 61 旧税率に関する特例 62 旧税率に関する特例【理論】 63 国等に対する特例 64 国等に対する特例【理論】 65 軽減税率 66 軽減税率【理論】 67 確認テスト4 68 確認テスト4 解説 69 模擬試験 70 模擬試験 解説</p>
<p>成績評価方法 (試験実施方法)</p>	<p>定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価</p>
<p>備考</p>	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	37	
授業科目	法人税法Ⅰ・Ⅱ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	3学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	240時間	
授業コマ数	120コマ	
授業概要	税理士試験法人税法の合格の為の基礎・応用知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験法人税法の合格の為の基礎・応用知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	保険差益
	2	保険差益
	3	交換差益
	4	交換差益
	5	収用等
	6	収用等
	7	特定資産の買い換え
	8	欠損金
	9	欠損金
	10	リース資産
	11	リース資産
	12	資本等取引
	13	資本等取引
	14	別表五の作成
	15	別表五の作成
	16	別表五の作成
	17	別表五の作成
	18	別表五の作成
	19	別表五の作成
	20	外国税額控除
	21	外国税額控除
	22	外国子会社配当等の益金不算入
	23	外国子会社配当等の益金不算入
	24	リース譲渡に係る収益及び費用の帰属事業年度の特例【理論】
	25	リース譲渡に係る収益及び費用の帰属事業年度の特例【理論】
	26	配当等の額とみなす金額【理論】
	27	外国子会社から受ける配当等の益金不算入【理論】
	28	外国子会社から受ける配当等の益金不算入【理論】
	29	同族会社の意義【理論】
	30	役員の意義【理論】

授業計画

- 31 使用人兼務役員の意義【理論】
- 32 役員給与の損金不算入【理論】
- 33 使用人給与の損金不算入【理論】
- 34 使用人賞与の損金算入時期【理論】
- 35 寄付金の損金不算入【理論】
- 36 寄付金の損金不算入【理論】
- 37 交際費等の課税の特例【理論】
- 38 交際費等の課税の特例【理論】
- 39 租税公課等の取り扱い【理論】
- 40 租税公課等の取り扱い【理論】
- 41 不正行為に係る費用の取り扱い
- 42 不正行為に係る費用の取り扱い
- 43 確認テスト3
- 44 確認テスト3 解説
- 45 ガイダンス
- 46 受取配当等の益金不算入
- 47 みなし配当金
- 48 資産の評価損益
- 49 資産の評価損益
- 50 寄付金の損金不算入
- 51 寄付金の損金不算入
- 52 租税公課等の取り扱い
- 53 租税公課等の取り扱い
- 54 納税充当金
- 55 納税充当金
- 56 収用等
- 57 収用等
- 58 欠損金
- 59 欠損金
- 60 有価証券
- 61 有価証券
- 62 帰属事業年度の特例
- 63 帰属事業年度の特例
- 64 組織再編
- 65 組織再編
- 66 組織再編
- 67 設立事業年度
- 68 設立事業年度
- 69 確定決算型
- 70 確定決算型
- 71 外貨建取引の換算【理論】
- 72 換算方法【理論】
- 73 換算差損益の取り扱い【理論】
- 74 デリバティブ取引【理論】
- 75 現物決済【理論】
- 76 繰延ヘッジ【理論】
- 77 時価ヘッジ【理論】
- 78 国庫補助金等に対する課税の特例【理論】
- 79 保険差益の額に対する課税の特例【理論】
- 80 換差益金の圧縮記帳【理論】
- 81 収用等の場合の圧縮記帳【理論】

授業計画	82 換地処分等の圧縮記帳【理論】 83 収用交換地等の所得の特別控除【理論】 84 特定資産の買換えの場合【理論】 85 青色欠損金の繰越控除及び繰戻し還付【理論】 86 災害損失金の繰越控除【理論】 87 債務免除があった場合の欠損金の損金算入【理論】 88 欠損等法人の取り扱い【理論】 89 残余財産が確定した場合の欠損金の取り扱い【理論】 90 合併があった場合【理論】 91 分割型分割があった場合【理論】 92 分社型分割があった場合【理論】 93 現物出資があった場合【理論】 94 適格組織再編があった場合【理論】 95 資産等に係る調整勘定の取り扱い【理論】 96 株式交換等があった場合【理論】 97 株式分配があった場合【理論】 98 グループ法人税制【理論】 99 確認テスト4 100 確認テスト4 解説 101 借地権 102 地方法人税 103 試験研究費の特別控除 104 組織再編税制 105 連結納税 106 資産除去債務 107 所得金額の計算 108 適用除外事業者 109 連結納税制度【理論】 110 各連結事業年度の連結所得金額の計算方法【理論】 111 連結中間申告【理論】 112 連結確定申告【理論】 113 連結納税の開始【理論】 114 連結欠損金の繰越控除【理論】 115 完全支配関係がある法人間取引の損益調整【理論】 116 適格現物分配があった場合の主な取り扱い【理論】 117 確定申告【理論】 118 中間申告【理論】 119 模擬試験 120 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	38	
授業科目	法人税法Ⅲ・Ⅳ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	2 4 0 時間	
授業コマ数	1 2 0 コマ	
授業概要	税理士試験法人税法の合格の為の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験法人税法の合格の為の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	ガイダンス 納税義務者の範囲 納税義務者の範囲 課税所得の範囲 課税所得の範囲 受取配当金の益金不算入 受取配当金の益金不算入 減価償却 減価償却 減価償却 減価償却 交際費等の損金不算入 交際費等の損金不算入 交際費等の損金不算入 寄付金の損金不算入 寄付金の損金不算入 寄付金の損金不算入 租税公課 租税公課 租税公課 納税充当金 納税充当金 納税充当金 収用等 収用等 貸倒損失 貸倒損失 貸倒損失 貸倒引当金 貸倒引当金

授業計画

- 31 貸倒引当金
- 32 欠損金
- 33 欠損金
- 34 欠損金
- 35 まとめ問題
- 36 納税義務者【理論】
- 37 課税所得の範囲【理論】
- 38 税率【理論】
- 39 事業年度【理論】
- 40 納税地【理論】
- 41 資本金等の額【理論】
- 42 利益積立金額【理論】
- 43 所得の帰属に関する通則【理論】
- 44 各事業年度の所得の金額の計算方法【理論】
- 45 収益の額【理論】
- 46 収益の額【理論】
- 47 受取配当金の益金不算入額【理論】
- 48 受取配当金の益金不算入額【理論】
- 49 確認テスト1
- 50 確認テスト1 解説
- 51 有価証券
- 52 有価証券
- 53 有価証券
- 54 有価証券
- 55 外貨建取引
- 56 外貨建取引
- 57 外貨建取引
- 58 別表四の作成
- 59 別表四の作成
- 60 別表四の作成
- 61 法人税額の計算の基礎
- 62 法人税額の計算の基礎
- 63 法人税額の計算の基礎
- 64 使途秘匿金
- 65 使途秘匿金
- 66 使途秘匿金
- 67 所得税額控除
- 68 所得税額控除
- 69 所得税額控除
- 70 まとめ問題
- 71 有価証券の譲渡損益及び算出方法【理論】
- 72 有価証券の譲渡損益及び算出方法【理論】
- 73 有価証券の期末評価【理論】
- 74 売買目的有価証券の意義【理論】
- 75 売買目的有価証券の意義【理論】
- 76 有価証券の意義【理論】
- 77 有価証券の意義【理論】
- 78 有価証券の意義【理論】
- 79 有価証券の取得価額【理論】
- 80 有価証券の取得価額【理論】
- 81 有価証券の取得価額【理論】

授業計画	82	確認テスト 2
	83	確認テスト 2 解説
	84	受取配当等の益金不算入
	85	外国子会社から受ける配当等の益金不算入
	86	みなし配当
	87	減価償却
	88	減価償却
	89	減価償却
	90	繰延資産
	91	繰延資産
	92	役員判定
	93	役員判定
	94	役員給与
	95	役員給与
	96	使用人給与
	97	使用人給与
	98	交際費等の損金不算入
	99	交際費等の損金不算入
	100	寄付金の損金不算入
	101	寄付金の損金不算入
102	圧縮記帳の概要	
103	圧縮記帳の概要	
104	国庫補助金等	
105	保険差益	
106	減価償却資産の償却計算	
107	減価償却資産の償却方法	
108	減価償却資産の意義	
109	減価償却資産の取得価額	
110	少額の減価償却資産	
111	一括償却資産	
112	中小企業車等の特例	
113	特別償却	
114	特別償却	
115	特別償却準備金	
116	繰延資産	
117	繰延資産の意義	
118	繰延資産の償却計算	
119	模擬試験	
120	模擬試験 解説	
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	39	
授業科目	相続税法 I・II	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	2 4 0 時間	
授業コマ数	1 2 0 コマ	
授業概要	税理士試験相続税法の合格の為の基礎・応用知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験相続税法の合格の為の基礎・応用知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	純農地
	2	中間農地
	3	市街地周辺農地
	4	市街地農地
	5	平坦地
	6	純山林
	7	中間山林
	8	市街地山林
	9	立木
	10	立木の評価減
	11	自家用家屋
	12	貸家
	13	建築中の家屋
	14	利用区分が異なる建物
	15	増改築があった場合
	16	構築物
	17	一般動産
	18	棚卸資産
	19	書画骨董品
	20	預貯金
	21	貸付金債権
	22	受取手形等
	23	利付公社債
	24	割引発行の公社債
	25	証券投資信託受益証券
	26	ゴルフ会員権
	27	不動産投資信託
	28	上場株式
	29	権利に関する権利
	30	確認テスト 4

授業計画

- 31 確認テスト4 解説
- 32 応用理論・みなし取得財産
- 33 応用理論・みなし取得財産
- 34 応用理論・みなし取得財産
- 35 応用理論・みなし取得財産
- 36 応用理論・みなし取得財産
- 37 応用理論・みなし取得財産
- 38 応用理論・みなし取得財産
- 39 応用理論・みなし取得財産
- 40 応用理論・対象者
- 41 応用理論・対象者
- 42 応用理論・対象者
- 43 応用理論・対象者
- 44 応用理論・対象者
- 45 応用理論・対象者
- 46 応用理論・対象者
- 47 応用理論・対象者
- 48 応用理論・対象者
- 49 応用理論・対象者
- 50 応用理論・対象者
- 51 応用理論・不動産
- 52 応用理論・不動産
- 53 応用理論・不動産
- 54 応用理論・不動産
- 55 応用理論・不動産
- 56 応用理論・不動産
- 57 応用理論・不動産
- 58 応用理論・不動産
- 59 応用理論・不動産
- 60 確認テスト5
- 61 確認テスト5 解説
- 62 取引相場のない株式
- 63 評価方式・原則的評価方式
- 64 特例的評価方式
- 65 評価方法の判定
- 66 類似業種比準価額
- 67 評価会社の比準要素の判定
- 68 類似業種の選択方法
- 69 純資産価額の算定方法
- 70 純資産価額計算上の資産及び負債の判定方法
- 71 評価会社が退職手当金等を取得した場合
- 72 同族会社が有する取引相場のない株式の純資産価額の計算
- 73 評価会社が生命保険金等を取得した場合
- 74 同族会社に対して土地を相当の地代により貸し付けている場合
- 75 土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合
- 76 評価会社が課税時期において仮決算を行っていない場合
- 77 配当還元価額の算定方法
- 78 その株式に係る年配当金額の算定方法
- 79 類似業種比重価額の修正
- 80 配当期待権が発生している株式の価額の修正
- 81 評価会社が自己株式を保有している場合

授業計画	82	法人株主がある場合の評価方法の判定
	83	特定の評価会社の株式
	84	小規模宅地等の減額
	85	特例対象宅地等
	86	特定事業用宅地等
	87	特定居住用宅地等
	88	貸付事業用宅地等
	89	特定計画山林の減額
	90	確認テスト5
	91	確認テスト5 解説
	92	応用理論・課税価格
	93	応用理論・課税価格
	94	応用理論・課税価格
	95	応用理論・税額計算
	96	応用理論・税額計算
	97	応用理論・税額計算
	98	応用理論・相続時精算課税
	99	応用理論・相続時精算課税
	100	応用理論・相続時精算課税
	101	応用理論・相続時精算課税
102	応用理論・贈与税	
103	応用理論・贈与税	
104	応用理論・贈与税	
105	応用理論・相続税	
106	応用理論・相続税	
107	応用理論・相続税	
108	応用理論・申告	
109	応用理論・申告	
110	応用理論・申告	
111	応用理論・申告	
112	応用理論・申告	
113	応用理論・申告	
114	応用理論・納付	
115	応用理論・納付	
116	応用理論・納付	
117	応用理論・納付	
118	応用理論・納付	
119	模擬試験	
120	模擬試験 解説	
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	40	
授業科目	相続税法Ⅲ・Ⅳ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	2 4 0 時間	
授業コマ数	1 2 0 コマ	
授業概要	税理士試験相続税法の合格の為の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験相続税法の合格の為の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	退職手当
	3	慰労金
	4	退職手当均等の非課税金額
	5	生命保険契約に関する権利
	6	生命保険契約に関する権利
	7	定期金に関する権利
	8	保証期間付定期金に関する権利
	9	契約にもとづかない定期金
	10	贈与税が課税されている場合
	11	負担付遺贈・贈与
	12	相続税が課税される場合
	13	相続税の非課税財産
	14	措置70の非課税
	15	相続時精算課税適用資産
	16	債務控除
	17	特定納税義務者の債務控除
	18	生前贈与加算
	19	相続税額の計算方法
	20	相続税の総額
	21	算出相続税額の計算
	22	法定相続人の数
	23	本来の財産
	24	相続税額の加算
	25	贈与税額控除
	26	配偶者の税額軽減
	27	未成年者控除
	28	障害者控除
	29	相次相続控除
	30	相続税の外国税額控除

授業計画

- 31 相続税精算課税制度【理論】
- 32 相続税精算課税制度に係る相続税の納付義務の承継【理論】
- 33 特例経営承継受贈者・特例事業受贈者【理論】
- 34 相続税の期限内申告【理論】
- 35 贈与税の期限内申告【理論】
- 36 相続税法の納税地【理論】
- 37 期限後申告【理論】
- 38 修正申告【理論】
- 39 更正の請求【理論】
- 40 還付を受けるための申告及び還付【理論】
- 41 確認テスト1
- 42 確認テスト1 解説
- 43 贈与税の概要
- 44 贈与税の納税義務者
- 45 相続時精算課税制度の概要
- 46 贈与税額の計算
- 47 贈与税の非課税財産
- 48 贈与税の配偶者控除
- 49 贈与税の外国税額控除
- 50 農地等の相続税の納税猶予
- 51 非上場株式等の贈与税の納税猶予の特例
- 52 非上場株式等の相続税の納税猶予の特例
- 53 個人の事業用資産の贈与税の納税猶予
- 54 個人の事業用資産の相続税の納税猶予
- 55 延納【理論】
- 56 延納【理論】
- 57 物納の要件等【理論】
- 58 物納の要件等【理論】
- 59 連帯納付【理論】
- 60 連帯納付【理論】
- 61 農地等の相続税の納税猶予及び免除【理論】
- 62 農地等の相続税の納税猶予及び免除【理論】
- 63 農地等の贈与税の納税猶予及び免除【理論】
- 64 農地等の贈与税の納税猶予及び免除【理論】
- 65 個人の事業用資産の贈与税納税猶予及び免除【理論】
- 66 個人の事業用資産の贈与税納税猶予及び免除【理論】
- 67 個人の事業用資産の相続税納税猶予及び免除【理論】
- 68 個人の事業用資産の相続税納税猶予及び免除【理論】
- 69 山林の相続税の納税猶予及び免除【理論】
- 70 山林の相続税の納税猶予及び免除【理論】
- 71 非上場株式の贈与税納税猶予及び免除【理論】
- 72 非上場株式の贈与税納税猶予及び免除【理論】
- 73 非上場株式の相続税納税猶予及び免除【理論】
- 74 非上場株式の相続税納税猶予及び免除【理論】
- 75 まとめ問題
- 76 まとめ問題
- 77 まとめ問題
- 78 まとめ問題
- 79 確認テスト2
- 80 確認テスト2 解説
- 81 評価の原則

授業計画	82	邦貨換算
	83	自用地
	84	宅地等の評価単位
	85	地区区分の異なる宅地
	86	不整形地
	87	地積規模の大きな宅地
	88	無道路地
	89	角切り宅地の間口距離
	90	がけ地等を有する宅地
	91	土砂災害特別警戒区域内にある宅地
	92	容積率の異なる宅地
	93	私道の用に供されている宅地
	94	セットバックを必要とする宅地
	95	都市計画道路予定地の区域内にある宅地
	96	普通借地権
	97	貸宅地
	98	貸家建付地
	99	貸家建付借地権
	100	使用賃借により借り受けた宅地等
	101	使用賃借により貸し付けられた宅地等
102	利用区分が異なる建物の敷地の用に供されている宅地等	
103	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地	
104	相当の地代を支払っている場合の貸宅地	
105	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地	
106	定期借地権等	
107	定期借地権等の目的となっている宅地	
108	貸宅地	
109	応用理論ガイダンス	
110	応用理論ガイダンス	
111	応用理論・納税義務者(相続税)	
112	応用理論・納税義務者(相続税)	
113	応用理論・納税義務者(相続税)	
114	応用理論・納税義務者(相続税)	
115	応用理論・納税義務者(贈与税)	
116	応用理論・納税義務者(贈与税)	
117	応用理論・納税義務者(贈与税)	
118	応用理論・納税義務者(贈与税)	
119	模擬試験	
120	模擬試験 解説	
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	41	
授業科目	簿記論総合演習Ⅰ・Ⅱ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	240時間	
授業コマ数	120コマ	
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための模擬試験を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための模擬試験で合格点を取る	
教科書	直前対策模擬試験 プレ模擬試験 全国統一公開模擬試験	
特記		
授業計画	1)	総合計算問題集基礎編1～18
	19)	総合計算問題集応用編1～18
	37)	項目別答練1～16
	53)	過去試験問題集60～69
	63)	過去試験厳選問題1～10
	73)	過去実力公開模擬試験1～4
	85)	過去直前対策模擬試験1～4
	97)	過去プレ模擬試験1～4
	109)	過去全国公開統一模擬試験1～2
	113)	過去直前予想公開模擬試験1～2
	119	模擬試験
	120	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	42	
授業科目	財務諸表論総合演習Ⅰ・Ⅱ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	240時間	
授業コマ数	120コマ	
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための模擬試験を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための模擬試験で合格点を取る	
教科書	直前対策模擬試験 プレ模擬試験 全国統一公開模擬試験	
特記		
授業計画	1 ↳	総合計算問題集基礎編1～10
	11 ↳	総合計算問題集応用編1～10
	21 ↳	理論問題集1～26
	47 ↳	理論問題集(会計基準穴埋め問題)1～10
	57 ↳	過去試験問題集54～69
	73 ↳	過去実力公開模擬試験1～4
	85 ↳	過去直前対策模擬試験1～4
	97 ↳	過去プレ模擬試験1～4
	109 ↳	過去全国公開統一模擬試験1～2
	113 ↳	過去直前予想公開模擬試験1～2
	119	模擬試験
	120	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	43	
授業科目	消費税法総合演習Ⅰ・Ⅱ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	140時間	
授業コマ数	70コマ	
授業概要	税理士試験消費税法に合格するための模擬試験を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験消費税法に合格するための模擬試験で合格点を取る	
教科書	直前対策模擬試験 プレ模擬試験 全国統一公開模擬試験	
特記		
授業計画	1 }	理論問題集複合1～10
	11 }	理論問題集取引1～15
	26 }	過去試験問題63～69
	40 }	実力公開模擬試験1～8
	56 }	直前対策模擬試験1～2
	60 }	本科直前対策模擬試験1～2
	64	ヤマ当て講義
	65 }	全国統一公開模擬試験1～2
	69	模擬試験
	70	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	44	
授業科目	法人税法総合演習Ⅰ・Ⅱ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	240時間	
授業コマ数	120コマ	
授業概要	税理士試験法人税に合格するための模擬試験を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験法人税に合格するための模擬試験で合格点を取る	
教科書	直前対策模擬試験 プレ模擬試験 全国統一公開模擬試験	
特記		
授業計画	1 ∪ 11 ∪ 19 ∪ 49 ∪ 57 ∪ 61 ∪ 73 ∪ 85 ∪ 93 ∪ 95 ∪ 99 ∪ 104 ∪ 114 ∪ 119 ∪ 120	総合計算問題集1～10 実力判定公開模擬試験1～4 理論問題集1～30 直前対策模擬試験1～4 プレ模擬試験1～2 過去実力公開模擬試験1～12 過去直前対策模擬試験1～12 過去プレ模擬試験1～8 全国統一公開模擬試験 直前予想公開模擬試験1～2 過去全国統一公開模擬試験 過去直前予想公開模擬試験1～2 総まとめ問題集1～5 模擬試験 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	45
授業科目	相続税法総合演習Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	-
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	240時間
授業コマ数	120コマ
授業概要	税理士試験相続税法に合格するための模擬試験を行う
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験相続税法に合格するための模擬試験で合格点を取る
教科書	直前対策模擬試験 プレ模擬試験 全国統一公開模擬試験
特記	
授業計画	1) 総合計算問題集基礎1～6 7) 総合計算問題集応用1～6 13) 実力判定公開模擬試験1～4 21) 財産評価問題集1～28 49) 直前対策模擬試験1～4 57) プレ模擬試験1～2 61) 過去実力公開模擬試験1～12 73) 過去直前対策模擬試験1～12 85) 過去プレ模擬試験1～8 93) 全国統一公開模擬試験 95) 直前予想公開模擬試験1～2 99) 過去全国統一公開模擬試験 104) 過去直前予想公開模擬試験1～2 114) 総まとめ問題集1～5 119) 模擬試験 120) 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	46	
授業科目	公認会計士 租税法基礎	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	1 0 0 時間	
授業コマ数	5 0 コマ	
授業概要	公認会計士論文式試験合格のために必要な租税法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公認会計士論文式試験合格のために必要な租税法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	法人税法総則・課税標準
	2	交際費等の損金不算入
	3	減価償却（普通償却）
	4	租税公課の及び納税充当金
	5	受取配当等の益金不算入
	6	繰延資産
	7	金銭債務に係る債務者の償還咳又は償還差損の益金又は損金算入
	8	有価証券
	9	所得税額控除
	10	寄付金の損金不算入
	11	減価償却（特別償却）
	12	特別償却準備金
	13	リース取引
	14	評価損益
	15	法人税法額の計算の基礎
	16	使途秘匿金
	17	外国税額控除
	18	貸倒損失
	19	欠損金の繰越控除・繰戻し還付
	20	取用等の特別控除
	21	圧縮記帳
	22	同族会社の判定
	23	役員・使用人兼務役員の判定
	24	役員給与
	25	使用人給与
	26	外国子会社から受ける配当等の益金不算入
	27	みなし配当
	28	帰属事業年度の特例
	29	税効果会計
	30	外貨建取引

<p style="text-align: center;">授業計画</p>	<p>31 保険料 32 グループ法人税制 33 修正申告 34 所得税法の概要 35 各種所得と各種所得の金額の計算 36 事業所得の金額の計算 37 譲渡所得の金額の計算 38 課税標準・課税所得金額の計算 39 所得控除額の計算 40 納付税額の計算 41 申請・納付 42 源泉徴収 43 有価証券に係る課税の特例 44 消費税法の概要 45 課税の対象 46 非課税 47 輸出免税等 48 課税標準 49 模擬試験 50 模擬試験 解説</p>
<p style="text-align: center;">成績評価方法 (試験実施方法)</p>	<p>定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価</p>
<p style="text-align: center;">備考</p>	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	47	
授業科目	公認会計士 財務諸表論上級	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	50時間	
授業コマ数	25コマ	
授業概要	公認会計士短答式試験合格のために必要な財務会計論の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公認会計士短答式試験合格のために必要な財務会計論の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	財務会計の意義
	2	財務会計の機能
	3	企業会計制度
	4	会計制度
	5	会計基準
	6	企業会計原則の一般原則
	7	会計公準
	8	会計主体論
	9	利益概念
	10	概念フレームワーク
	11	収益と費用の分類
	12	損益計算の原則
	13	収益と費用の認識と測定
	14	資産と負債の分類
	15	資産の評価
	16	棚卸資産の範囲
	17	棚卸資産の取得原価の決定
	18	棚卸資産の払出数量の計算
	19	棚卸資産の払出単価の計算
	20	固定資産総論
	21	有形固定資産
	22	無形固定資産
	23	投資その他の資産
	24	模擬試験
	25	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	48
授業科目	公認会計士 管理会計論上級
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	50時間
授業コマ数	25コマ
授業概要	公認会計士試験合格のための管理会計論の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士試験合格のための管理会計論の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 財務会計と管理会計 2 管理会計の意義と目的 3 財務情報分析の意義と種類 4 収益性分析 5 安全性分析 6 キャッシュ・フロー分析 7 短期利益計画の基礎 8 CVP分析 9 原価態様 10 原価分解の方法 11 直接原価計算の基礎 12 直接実際原価計算 13 直接標準原価計算 14 直接原価計算に関する諸論点 15 予算管理の基礎 16 予算編成 17 予算統制 18 予算管理の諸論点 19 資金管理の基礎 20 現金資金の管理 21 資金計算書 22 キャッシュ・フロー管理 23 意思決定会計総論 24 模擬試験 25 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	49	
授業科目	公認会計士 租税法基礎Ⅱ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	1 0 0 時間	
授業コマ数	5 0 コマ	
授業概要	公認会計士論文式試験に合格するために必要な租税法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公認会計士論文式試験に合格するために必要な租税法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	法人税法総則・課税標準
	2	交際費等の損金不算入
	3	減価償却（普通償却）
	4	租税公課及び納税充当金
	5	受取配当金の益金不算入
	6	繰延資産
	7	金銭債務に係る債務者の償還差益または償還差損の益金また損金算入
	8	有価証券
	9	所得全額控除
	10	寄付金の損金不算入
	11	原価償却（特別償却）
	12	特別償却準備金
	13	リース取引
	14	評価損益
	15	法人税額の計算の基礎
	16	使途秘匿金
	17	外国税額控除
	18	貸倒損失
	19	欠損金の繰越控除・繰戻し還付
	20	取用等の特別控除
	21	圧縮記帳
	22	同族会社の判定
	23	役員・使用人兼務役員の判定
	24	役員給与
	25	使用人給与
	26	外国子会社から受ける配当等の益金不算入
	27	みなし配当
	28	帰属事業年度の特例
	29	税効果会計
	30	外貨建取引

<p style="text-align: center;">授業計画</p>	<p>31 保険料 32 グループ法人税制 33 修正申告 34 所得税法の概要 35 各種所得と各種所得の金額の計算 36 事業所得の金額の計算 37 譲渡所得の金額の計算 38 課税標準・課税所得金額の計算 39 所得控除額の計算 40 納付税額の計算 41 申告・納付 42 源泉徴収 43 有価証券にかかる課税の特例 44 消費税法の概要 45 課税の対象 46 非課税 47 輸出免税等 48 課税標準 49 模擬試験 50 模擬試験 解説</p>
<p>成績評価方法 (試験実施方法)</p>	<p>定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価</p>
<p>備考</p>	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	50	
授業科目	公認会計士 証券取引法上級	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科 1 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	5 0 時間	
授業コマ数	2 5 コマ	
授業概要	公認会計士論文式試験合格のために必要な企業法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公認会計士論文式試験合格のために必要な企業法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	株式の意義等
	2	株主の権利・義務
	3	株主平等原則
	4	株式の譲渡
	5	株式譲渡自由の原則
	6	株式譲渡自由の制限
	7	自己株式の取得・処分等の制限
	8	自己株式取得規制の概要
	9	子会社による親会社株式取得
	10	適法に取得した親会社株式の法的地位
	11	株券
	12	株券不所持制度
	13	株式譲渡の効力発生要件、対抗要件
	14	株券の資格授与的効力
	15	株券の善意取得
	16	株券喪失登録制度
	17	株主名簿
	18	所在不明株主の株式売却制度
	19	名義書換制度
	20	株式担保
	21	株式振替制度
	22	株式併合・株式分割・株式無償割当て・株式の消却
	23	端数の処理
	24	模擬試験
	25	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	51
授業科目	公認会計士 監査論上級
実務家教員授業	- -
学部・学科	経理本科1年制学科
履修年次	1年次
開講学期	3学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	50時間
授業コマ数	25コマ
授業概要	公認会計士短答式試験合格のために必要な監査論の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士短答式試験合格のために必要な監査論の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 監査意見に関する基礎概念 2 監査報告書の記載 3 個別財務諸表の監査意見と連結財務諸表の監査意見 4 追記情報 5 比較情報 6 継続企業の前提と経営者の責任 7 継続企業の前提に対する監査人の対応 8 中間監査総論 9 中間監査の実施及び報告 10 四半期レビュー 11 特別目的の財務諸表等の監査 12 個別の財務表等の監査 13 内部統括報告制度 14 内部統括報告制度における経営者・監査人の対応 15 会社法会計監査人監査 16 金融商品取引法 17 公認会計士法 18 公認会計士及び監査法人の業務 19 監査法人の社員の責任 20 有限責任監査法人 21 監査法人による情報開示 22 独立性に関する法規制 23 被監査会社等が大会社等である場合の規制 24 模擬試験 25 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
科目番号	52
授業科目	公認会計士 経営学基礎
実務家教員授業	-
学部・学科	経理本科 1 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	8 0 時間
授業コマ数	4 0 コマ
授業概要	公認会計士論文式試験合格のために必要な経営学の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士論文式試験合格のために必要な監査論の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 投資理論の基礎知識 2 最適なポートフォリオの選択 3 資本資産評価モデル：CAPM 4 債権評価 5 裁定取引と効率的市場 6 マルチファクターモデルと行動ファイナンス 7 企業財務論の目的 8 資本コスト 9 最適資本構成 10 プロジェクトの評価 11 配当政策（ペイアウト政策その1） 12 自社株買い（ペイアウト政策その2） 13 財務情報分析 14 バラリスト・スコアカード（BSC） 15 デリバティブ 16 先物取引 17 オプション取引 18 オプション取引を用いたポートフォリオ（オプションの合成） 19 金利オプション 20 スワップ取引 21 テイラーの科学的管理法 22 ファヨールの管理論 23 人間関係論と近代モチベーション論 24 バーナード論 25 サイモン、マーチ論 26 ゴミ箱モデル 27 管理原則論 28 組織構造論（各論） 29 組織文化論 30 集団の意思決定

授業計画	31 コンフリクト論とダイバーシティ経営 32 動機づけ理論 33 リーダーシップ理論 34 経営戦略論の基礎概念 35 多角化戦略 36 垂直統合戦略 37 国際化戦略 38 ポーターの競争戦略論 39 模擬試験 40 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
科目番号	53	
授業科目	公認会計士 総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	経理本科1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	400時間	
授業コマ数	200コマ	
授業概要	公認会計士短答式試験合格のために必要な模擬試験を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	公認会計士短答式試験合格のために必要な模擬試験で合格点を取ることができる	
教科書	実力養成答練 短答直対答練 短答公開模試	
特記		
授業計画	1 }	財務会計論 計算猛特訓1～6
	7 }	管理会計論 計算猛特訓1～6
	13 }	財務会計論 実力養成答練1～6
	19 }	監査論 実力養成答練1～6
	25 }	企業法 実力養成答練1～6
	31 }	財務会計論 ステップ答練Ⅱ1～14
	59 }	管理会計論 ステップ答練Ⅱ1～10
	79 }	財務会計論 ステップ答練直対1～4
	87 }	管理会計論 ステップ答練直対1～4
	95 }	財務会計論 短答直対答練（前期）1～4
	103 }	財務会計論 短答直対答練（後期）1～4
	111 }	管理会計論 短答直対答練（前期）1～4
	119 }	管理会計論 短答直対答練（後期）1～4
	127 }	監査論 短答直対答練（前期）1～4
	135 }	監査論 短答直対答練（後期）1～4

<p style="text-align: center;">授業計画</p>	<p>143 企業法 短答直対答練（前期） 1～4) 151 企業法 短答直対答練（後期） 1～4) 159 財務会計論 短答計算猛特訓 1～8) 167 管理会計論 短答計算猛特訓 1～8) 175 財務会計論 短答本試験体感DAY) 183 短答式公開模擬試験（前期）) 191 短答式公開模擬試験（後期）) 199 模擬試験 200 模擬試験 解説</p>
<p style="text-align: center;">成績評価方法 (試験実施方法)</p>	<p>定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価</p>
<p style="text-align: center;">備考</p>	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容																														
科目番号	54																														
授業科目	公認会計士 総合演習V・VI																														
実務家教員授業	-	-																													
	-	-																													
学部・学科	経理本科1年制学科																														
履修年次	1年次																														
開講学期	1学期																														
科目区分	選択																														
授業方法	演習																														
授業時間	200時間																														
授業コマ数	100コマ																														
授業概要	公認会計士論文式試験合格のために必要な模擬試験を行う																														
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う																														
達成目標	公認会計士論文式試験合格のために必要な模擬試験で合格点を取ることができる																														
教科書	応用答練 直対答練 公開模試																														
特記																															
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">1 }</td> <td>会計学Ⅰ論文応用答練1～4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">9 }</td> <td>会計学Ⅰ論文直対答練1～4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">17 }</td> <td>会計学Ⅱ論文応用答練1～4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">25 }</td> <td>会計学Ⅱ論文直対答練1～4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">33 }</td> <td>監査論論文応用答練1～4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">41 }</td> <td>監査論論文直対答練1～4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">49 }</td> <td>企業法論文応用答練1～4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">57 }</td> <td>企業法論文直対答練1～4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">65 }</td> <td>租税法論文応用答練1～4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">73 }</td> <td>租税法論文直対答練1～4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">81 }</td> <td>経営学論文応用答練1～4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">89 }</td> <td>経営学論文直対答練1～4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">97 }</td> <td>論文式公開模擬試験</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">99</td> <td>模擬試験</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">100</td> <td>模擬試験 解説</td> </tr> </table>	1 }	会計学Ⅰ論文応用答練1～4	9 }	会計学Ⅰ論文直対答練1～4	17 }	会計学Ⅱ論文応用答練1～4	25 }	会計学Ⅱ論文直対答練1～4	33 }	監査論論文応用答練1～4	41 }	監査論論文直対答練1～4	49 }	企業法論文応用答練1～4	57 }	企業法論文直対答練1～4	65 }	租税法論文応用答練1～4	73 }	租税法論文直対答練1～4	81 }	経営学論文応用答練1～4	89 }	経営学論文直対答練1～4	97 }	論文式公開模擬試験	99	模擬試験	100	模擬試験 解説
1 }	会計学Ⅰ論文応用答練1～4																														
9 }	会計学Ⅰ論文直対答練1～4																														
17 }	会計学Ⅱ論文応用答練1～4																														
25 }	会計学Ⅱ論文直対答練1～4																														
33 }	監査論論文応用答練1～4																														
41 }	監査論論文直対答練1～4																														
49 }	企業法論文応用答練1～4																														
57 }	企業法論文直対答練1～4																														
65 }	租税法論文応用答練1～4																														
73 }	租税法論文直対答練1～4																														
81 }	経営学論文応用答練1～4																														
89 }	経営学論文直対答練1～4																														
97 }	論文式公開模擬試験																														
99	模擬試験																														
100	模擬試験 解説																														
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価																														
備考																															